

第1回総合教育会議

議事録

令和2年12月8日開催

湯沢市

第1回湯沢市総合教育会議 議事録 要旨

日 時：令和2年12月8日（火）

午後2時～午後3時40分

場 所：本庁舎4階 会議室41

<開 会>

総務課長

湯沢市総合教育会議を開催いたします。はじめに、市長から御挨拶を申し上げます。

市長

湯沢市総合教育会議の開催にあたり、教育委員の皆様にご出席いただきありがとうございます。本市教育行政の推進に当たり御尽力いただいていることに感謝申し上げます。

先般、須川小学校と三関小学校の閉校式と思い出を語る会に出席しました。学校がなくなることは地域にとりまして非常にさみしい思いが感じられることと思いますが、湯沢西小学校に統合後も子供達が元気に頑張ってくれるものと思っております。また、令和4年度には稲川地域の小学校が統合します。教育委員の皆様におかれましては、今後とも様々な面で御指導、御支援をお願いいたします。

先日は、自衛隊音楽隊の演奏会に出席しました。これまで湯沢文化会館では様々なジャンルの演劇や音楽イベントを開催してきましたが、今年度はコロナ禍にあつてことごとく中止となってしまいました。こうした中での今回のイベントは、感染対策をしながらの開催となりましたが、多くの方に来場いただきました。感動いっぱいのコンサートとなり、関係者の皆様に感謝しております。

さて、総合教育会議は、市長と教育委員会が対等な関係で協議・調整する場として設置が義務付けられたものであり、準備させていただきました。今日の会議では、令和3年度の教育行政の取組について御協議いただきますので、よろしくお願い致します。

総務課長

続きまして教育長から御挨拶申し上げます。

教育長

鈴木市長には、教育行政への積極的な御支援御助言をいただき、御礼申し上げます。また、本日は湯沢市総合教育会議を開催し、令和3年度の取組について協議する場を設けていただき、ありがとうございます。

平成29年度に策定いただきました教育大綱については、今年度が最終年度となりました。基本理念の下に基本方針を5つ掲げ、各種事業を実施してまいりました。課題もございいますが、順調に推移しているものと受け止めております。

本日の教育会議には令和3年度の重点事業を提示させていただきましたので、今後とも市長の御支援御協力をよろしくお願いいたします。

総務課長

ありがとうございました。それでは案件に入ります。これからの進行につきましては、市長にお願いいたします。

市長

案件(1)「令和3年度の主な取組予定について」、事務局から説明をお願いします。

学校教育課長

(資料1に基づき説明)

文化財保護室長

(資料1に基づき説明)

生涯学習課長

(資料1に基づき説明)

教育総務課長

(資料1に基づき説明)

子ども未来課長

(資料1に基づき説明)

市長

事務局からの説明に対して、御質問等ございませんか。

後藤委員

これまで計画的にパソコンの導入を進められてきましたが、令和3年4月から、国のGIGAスクール構想がスタートし、本格的にICTを活用した教育活動が始まります。市では、専門的知識を持った方を学校に配置するとの説明がありましたが、学校側としては心強いものと思っております。

今後は研修会を開催されるようですので、先生方には知識や技能を習得していただいて、多様な使い方で子供達の豊かな学びにつながるよう、タブレットの良さを授業に生かしてほしいと思います。また、非常時に対応できる教育スタイルの確立も求められているようですので、そのことを意識した取

組も必要であると感じております。

今後は、ICT活用推進委員会など、情報モラルの指導等の委員会を立ち上げる予定はあるのでしょうか。

学校教育課長

市では、ICTを活用した学力向上を目指しています。各学校の情報教育推進計画に反映できるように、市としてはICT活用推進計画を策定し、各学校に示したいと思っています。今年度、教育課題検討部会でも話題にさせていただきましたが、来年度は御質問のありましたような組織の立ち上げを検討し、各学校でICTが活用されるようにしていきたいと思えます。

後藤委員

ICTの活用は、これからの学校教育を支える基盤的なツールとして必要不可欠になってくると思えますし、これからの時代を生きていく子供達にとっては、必須アイテムではないかと思えます。子供達がタブレットを文房具のように気軽に扱えるようになってもらいたいです。

佐藤委員

国のGIGAスクール構想によって1人1台のパソコンを配置していただくことは、ありがたいことだと思えます。今年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨時休業期間中、私の子供の学校では、2週間ごとに紙媒体で課題や宿題が出され、それを家庭で学習し提出するという取組をしました。不便や制限がある中での取組ではありましたが、先生方の工夫をして学びを止めないという気持ちと、感染予防に努めながら学校は毎日続いているという取組に、働きながら子育てをする立場としては助けられました。現在も新型コロナウイルス感染症対策は緊張を緩められない状況ではありますが、感染予防に努めつつ、来年度はプログラミング教育研修会やパソコンを使った授業が予定されておりますので、先生方にも大いに学んでいただき、普段の業務に新しいことを取り入れていただくことは大変なこととは思いますが、ぜひ子供達に新しい世界、新しい学びの形を教えていただきたいと思えます。

芳賀委員

今後は、現在ある職業の半数以上が消えてしまうと言われており、それに代わる職業の基盤となるのがコンピューターで、情報環境で多くのことが進んでいくと言われていています。子供達は、そのような世界に飛び込んでいくことになるので、情報教育は他の市町村に負けないような形で行われることが望ましいと思います。学校用パソコン更新事業にある「児童生徒への貸出用モバイルwi-fiルーター貸与」は、十分配慮する必要があります。今年、新型コロナウイルス感染症の影響で高校や大学でオンライン授業が行われましたが、そのような緊急事態だけではなく、これからは家庭でのコンピューターの活用は必要になってきます。家庭で活用できない場合は、教育弱者となりますので、行政で環境整備していくことが大事だと思います。新型コロナウイルス感染症は来年も続いていくと思います。秋田県は感染者数が少ない状況ですが、一旦感染が拡大した場合は、情報環境が整備されていることは大事なことになると思います。できる限り早く環境を整備していただきたいです。

市長

インターネット環境の普及については、先般NTT東日本と契約し、環境整備に取り組んでいく準備をしておき、地域による格差をなくす作業を進めていきます。

また、学校の学習スタイルも紙中心ではなくなり、急速に変化していくと思います。先生方の研修や専門的知識を持った人を配置するなど、先生方に負担がかかる部分もあると思いますが、湯沢市では新しい教育スタイルが進むように取り組んでいきますので、期待していただきたいと思います。

阿部委員

GIGAスクールへの取組には、関心を持っています。子供達と同じ機械を使って画一的な授業をする姿が浮かんできますが、これまでの個性ある情報教育を推進してほしいと思います。今後は、教科にしっかり溶け込んだタブレット活動をしていただければ、情報教育ではトップになれると思いますので、頑張ってください。

学校教育課長	御助言ありがとうございます。学校では、とにかく使ってみるところからスタートし、研修なども進め、本格的な学習活動を進めていくように努力していきます。
後藤委員	放課後児童健全育成施設整備については、同じ校舎で学ぶ子供達が、放課後も一緒に同じ施設で活動できることは、とても良いことだと思います。子供達の居場所があるということは、保護者にとっても安心ではないかと思います。
佐藤委員	文化財保護事業については、広報やSNS、HP等で紹介していただき、積み重ねることで市民の関心も高まると思います。人口減少や少子高齢化が進むにつれ、文化財の保全や継承が難しくなっていくものと思われれます。今後は、こういったものを残して継承していくか精査することになると思いますが、大人だけでなく、子供達にとっても理解が深まると思います。
文化財保護室長	今年、私は子供とまなぐ凧作りに参加しました。子供がそれなりの凧を作ったのを見て、喜ばしく思い、玄関に飾っています。こういった体験物は観光の一つにもなりうると思います。手法はいろいろあると思いますが、郷土の歴史、文化への愛着、誇りを市民の皆様が育み、また、地域の活性化につなげてほしいと思います。
芳賀委員	文化財の周知については、市民へのアンケートの結果を見ましても、周知が足りていないことが課題として挙げられていますので、今後は周知を図っていきたいと思います。文化財は減りませんが人口が減っていく中で、取捨選択しながら、どの文化財を保存していくか地域の方々と一体となって進めていきたいと思います。文化財は指定のもの以外でも、小安地区の景観や、稲庭うどん、川連漆器といった工芸技術もありますので、総合的に文化財の保存活用を進めていきたいと思います。
芳賀委員	今後は、歴史資料館の取組が行われることと思います。新聞等では、他の文化施設と併せて、駅前の消防署跡地に複合施

設として整備されるとの報道がありました。これまでの発想とは違い、人が多く集うことができる文化施設になるよう検討していただければと思います。場所も適していますので、市の発展のために歴史資料館が必要だと思います。

市長

12月定例会に複合施設の整備構想を示したところです。図書館と生涯学習センターの複合が基本的な考え方がありますが、歴史資料館の要素を加え、さらに絵どうろうも展示するなど、多くの市民要望を取り入れた新しいタイプの複合施設になろうかと思います。また、1階のフロアを広く確保し、多くのイベントを開催することを考えおり、気軽に市民が入れるようにしたいと思います。歴史資料展示のスペースは、300平方メートルを予定しております。歴史資料館の建設は、湯沢市の課題でありましたので、湯沢市の成り立ち、歴史を学習することができ、さらに、いろいろな資料を見学できる施設が必要だと思います。駅前には相応しい場所だと思いますので、建設に向けて着実に進めていきたいと思っています。

阿部委員

学校統合に関連しまして、空き校舎の活用のイメージがあればお示ししていただきたいです。

また、稲川統合小学校のスクールバスでの通学エリア外の通学路について、安全の確保をお願いいたします。

教育総務課長

空き校舎の活用については、まずは行政用途での使用を検討し、次に民間の活用を含めた利活用を進めていくことになろうかと思います。行政用途には、地区センターなど、地域の行政機能も含まれます。既に市議会に要望が出されている地区もありますので、今後はそれぞれの地域と話し合い、活用方法について決めていきたいと思っています。最終的に行政用途での活用が見込まれない場合は、財産処分として譲渡の選択の可能性もあろうかと思います。

また、通学につきましては、稲川統合小学校のスクールバスの対象地域の基本案をPTAに示しております。これに対して地域の要望をお聞きし、話し合いを進めていきたいと考え

ております。その中では、冬期間の安全性について確認しながら、整備してまいりたいと思います。基本案においてスクールバスの対象外となっている地域であっても、通学路の安全が確保できない場合はスクールバスの対象地域に組み入れるといった例もありますので、柔軟に話を進めていきたいと思います。

後藤委員

文化財の保護と活用についてですが、子供達に文化財を理解していただく手法として、「かるた」や「すごろく」など、遊び道具の活用ができないかと思っております。例えば群馬県の「上毛かるた」は、幼稚園児がそらで読み上げることができるようです。文化財には知らないことがたくさんあり、遊びながら学ぶことができる手法はいかがでしょうか。「かるた」はお土産にもなると思いますので、参考になればと思います。

文化財保護室長

子供達への文化財の普及については、考えていかなければならないと思っております。今後5か年計画の中で、学校教育と連携して、歴史資料館に足を運ぶような工夫を考えていきたいと思っております。「かるた」に関しましては、何年か前に「わくわくゆざわ未来創造塾」の事業の中で、「湯沢かるた」を作りました。現物は、市役所3階に飾っておりますのでご覧になっていただければと思います。その「かるた」を冬休みの「子どもゆざわ学」という事業の中で、市内の女性の方に方言で「かるた」の読み手を務めていただき、活用した経緯があります。今後も継続していきたいと思っております。文化財保護事業は、どちらかというと保護に関する説明が多くなりましたが、活用については郷土事業の推進に関する事業で進めていきたいと思っております。

市長

御質問や御意見ありがとうございました。それでは、「令和3年度の主な取組予定について」は、承認いただくことでよろしいでしょうか。

委員

異議なし。

市長

案件(2)「その他(報告)について」、事務局から説明をお願いします。

学校教育課長

(資料2に基づき説明)

生涯学習課長

(資料2に基づき説明)

市長

事務局からの説明に対して、御質問等ございませんか。

芳賀委員

修学旅行については、例年の4月から5月から時期をずらして行ったものだと思いますが、どのような考え方で行先を決めたのか関心があります。調べた結果では、約6割が行先に県内を選択しており、男鹿や鹿角に行った学校が多いようでした。そこで発想を変えまして、県内の学校で、湯沢市に修学旅行に来た学校はないものかと思いました。市内では、雄勝の小野小町、小安峡、地熱、酒蔵、川連漆器など、修学旅行の見学地としては十分価値があるのではないのでしょうか。できれば、湯沢市に修学旅行が訪れる発想を描いてもいいのではないかと思いました。

市長

私といたしましては、市内には、男鹿や鹿角に勝るとも劣らないスポットがあると思っております。地域に根差した学べるスポットがありますので、もっとアピールしておくべきだったと思っております。このようなスポットをメニュー化して学校関係者に発信していきたいと思っております。

小安峡に来た学校がありますか。

佐藤委員

由利本荘市の鳥海の学校が来ました。その学校は、小安峡を見学し、横手市のまんが美術館を見学したようです。

市長

話は逸れますが、宿泊費に5,000円を補助する「ゆざわに泊まろうキャンペーン」では、9月から現在まで予約が埋まっていて、例年比の125%まで伸びているようです。宿泊客の8割が秋田県内の方のようです。この事業は2月末まで継続することとしており、宿泊客の方に地場産品をセットにしたお土産が抽選で当たる取組も好評を得ております。

また、湯沢市出身の学生にふるさと便として、米、川連カレー、マスクなどをパックにして送ったところ、大変好評

教育長

で、現在、第2弾を発送しているところです。その学生の皆さんとは今後も連絡を取り合うこととしており、動画でメッセージを送る準備をしております。将来的に湯沢市に戻って来ていただけるよう、若い人達との連携を図る工夫をしていきたいと思っております。

修学旅行に関しまして、中央地区からの人事交流で市内に赴任している校長からは、湯沢市にはすばらしいものがたくさんあるといった声が上がっています。その方は今年度末で中央地区に戻りますが、戻った後に湯沢市の良さをアピールしていただきたいと思っております。ジオパークを含め、市内を回遊していただきたいと思っております。

来年度もコロナ対応を中心とした学校行事になると思っております。今年度の学校行事は、規模を小さくしましたが、中止ではなく実施できたことが良かったと思っております。修学旅行も感染者が出ず、無事終了しましたし、内容としては、見物や見学から体験学習に変わってきていると感じております。

市長

高校生が文化祭の発表の機会がないとのことで、街なかのウィンドウで作品を飾りました。第2弾として中学生の部も実施し、コロナ禍において商店街と中高校生との協働の取組となったと思っております。工夫して実施することで貴重な体験が生まれました。

それでは、「その他（報告）について」は、承認いただくことでよろしいでしょうか。

委員

異議なし。

総務課長

その他に委員の皆様から何かございますか。

委員

なし。

総務課長

それでは、以上で湯沢市総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。

<閉 会>